

2017年3月
在マルセイユ日本国総領事館
講師：フランス国家警察
パラヴィジニ上級警視正

南仏（ブーシュ・デュ・ローヌ）治安概況

1. ブーシュ・デュ・ローヌ県の警察組織（Direction Départementale de la Sécurité Publique）について

同県を4つに分け，区域（District）ごとに管轄本部を設置：マルセイユ本部，マルティエグ本部，エクサンプロヴァンス本部，アルル本部

2. マルセイユ市の警察組織（Sécurité Publique de Marseille）について

(1) 管轄

マルセイユ市，ラペンヌ・シュー・ユヴォーヌ市，セプテム・レ・ヴァロン市，アロー市，プラン・ドウ・キュック市，オーバーニュ市，ラ・シオタ市

(2) マルセイユ市内における管轄

- ① マルセイユ南部方面本部（Division Sud）
- ② マルセイユ中央本部（Division Centre）
- ③ マルセイユ北部方面本部（Division Nord）

3. 犯罪被害の具体例

(1) ひったくり（Vol a arrache）

① 手口

駅，空港，人通りの多い路上などでカバンや携帯電話等をひったくる。犯人はオートバイで逃走することが多い。

② 対策

- ・ かばんを体から離さない。
～ 買い物時のレジでお財布を見せない様にする（現金を持っている様子を見せない）。
- ・ ネックレスや宝石等を身につけない（目立たない様に）。
- ・ 人混みの中で携帯電話を使用する際は，立ち止まって使用する。路

上の場合は壁の近く。できるだけ店舗内での使用を心がける。

(2) 銀行 A T M 細工詐欺

① 手口

A T M で現金を引き出している人に対して 1 人が話しかけて注意を引いている隙に、共犯者が現金を盗む。または、話しかけている隙に暗証番号を盗み見、後からカードが入ったバックをかつぱらう。

A T M の機械に細工がされているケースもある（カードが出てこないように、特別な操作をしないと出てこないように等）。

② 対策

- ・ 暗唱番号を打つ時には手元を隠す。
- ・ A T M 操作中に話しかけられても、現金引き出しが終了するまでは対応しない。

(3) 車中荒らし

① 手口

駐車中の車の中（トランクの中）の物を盗む。

② 対策

- ・ 外から見える車中には物を置かない（GPS 機器も残さない）。
- ・ トランクに物を隠している様子を見られていることもあるので、物の移動は駐車地に着く前にしておく。
- ・ カランク（Calanques）地区ハイキングコース付近の駐車場は特に注意。長時間離れている間に車の窓を割られ、車ごと盗まれることもある。

(4) 家に侵入してくる泥棒（ピンポン泥棒）

① 手口

郵便配達人のふりをして 2 人でやってくる。家の中に入ってきて、1 人が「最近何か問題はありませんか？」等と話しかけている間に、もう 1 人が金目のものを盗む。

② 対策

- ・ 家に誰かがやって来たら、身分証明書の提示を求める。
～ 偽カードの時もあるので要注意。ちなみに現在の警察の身分証明書は IC チップ入り。
- ・ 「おかしい」と思ったら、「17」へ電話をして確かめる。

(5) 凶器を持った強盗

① 手口

車の運転中や、店舗や自宅に侵入されて、凶器で脅される。

② 対応

- ・ 犯人の人相着衣（服装，顔の感じ，髪の色，覆面の有無など）を記憶し、犯人がいなくなったらすぐ警察へ連絡。家で被害に遭った時には、警察が来るまで家の中の物を触らず，動かさない。
- ・ 家にアラームを設置。
- ・ 家には現金は置かない。
- ・ 玄関近くに鍵を置かない。

4. 短期旅行者の犯罪対策について

- ・ 観光客は，貴重品をホテルのセーフティーボックスに預けるよう習慣づけること（但しパスポート等の身分証明書は身につけておく）。
- ・ 大都市では，界限によって大変危険な地域とそうでない地域がある。知り合い，取引先，ホテルフロント等で十分な情報を得て，危険な場所へは立ち寄らないようにすること。
- ・ 夜行列車内では，睡眠中に盗難に遇う被害が頻発しているので特に注意をすること。
- ・ 高速道路やサービスエリアでも犯罪が起きている。車が故障したふりをして助けを求めてきた人の相手をしている間に貴重品を盗まれたり，車ごと盗まれることもある。誰かが近寄ってきても車から降りないこと。また，車内で一夜を明かすことは大変危険なので避けること。

5. テロに遭遇してしまったら。

(1) 逃げる

どこでテロ行為が起きているかを見極められたら，現場から離れ逃げる。余裕があれば他人も救助。周辺の人に，現場へ近づかないよう情報提供をする。

(2) 隠れる

部屋に隠れ込み，可能なら中からカギをかける。部屋の電気を消す。携帯電話の音を消す。バイブ機能も解除する。隠れる部屋がない場合は，強固な壁の裏などに身を隠す。

(3) 通報する

身の安全が確保できたら、17番か112番へ通報。警察が現場に到着した時に、自分がテロリストと間違えられない様に、警察官に向かって急な動きを取らず、両手を揚げて近づくこと。

6. 緊急時の電話番号

- ・ 警察 (POLICE) : 17
- ・ 医療救急車 (Service d' ambulance SAMU) : 15
- ・ 消防車 (Pompiers) : 18
- ・ 緊急時 (Numéro d'urgence général) : 112 (ヨーロッパ共通番号)

7. その他

- ・ 万が一犯罪被害に遭った際、被害地以外の警察でも被害届を出すことが出来る (例えば、ニースで盗難被害に遭ったがすぐにパリに移動せざるを得なかった場合、パリの警察で届け出ることも可能。)